

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		外国人観光客おもてなし支援					所管	文化産業観光部 産業振興課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	45	計画事業名	おもてなしの人づくり			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-2. まちの魅力の創出					[事業開始] 平成28年度 [終了予定] - 年度				
		[小 柱] (3)おもてなし環境の整備									
		[施 策] ②ふれあいとおもてなしの人づくり									
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	外国人観光客おもてなし支援事業助成金交付要綱(事業団)							
	事業対象	区内中小企業									
	事業目的	東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を機に、今後更なる増加が想定される外国人観光客に対応するため、区内中小企業による外国人観光客に対する「おもてなし」の取り組みを支援することで、本区のおもてなし体制の向上を図ることを目的とする。									
	事業内容	次の取組みを行う事業者に対し、その経費の一部を助成する。 ①外国語メニュー・パンフレット等の新規作成 ②外国語HP新規作成 ③おもてなし講習受講 ④免税書類発行システム導入 助成率:対象経費の2分の1 助成限度額:①②は10万円、③④は5万円									
委託の有無	なし	委託内容									
補助金の有無	都										
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度				
	活動指標	助成件数	件	40	-	-	20				
	成果指標										
	決算額 (単位:千円)					-	-	1,878			
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				-	-	803			
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				-	-	0			
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				-	-	1,878			
		総経費				-	-	2,681			
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				-	-	0			
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				-	-	0			
一般財源(区負担額)				-	-	2,681					
前回評価から改善した事項	なし										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	今後更なる外国人観光客の増加が想定されるため、区全体のおもてなし環境の向上を図っていく必要がある。特に、外国語HPの作成や、メニュー・パンフレットの作成について個別企業からの問い合わせは多く、今後の需要も見込まれる。								
	効率性	3	他の助成事業同様、個別事業者が行う事業に対し、その事業経費の全額ではなく、一部を助成することによって、個別事業者の自主性を損なわず、最小限の経費で支援を実施している。								
	手段の適切性	3	個別企業の取組みを資金的に支援する制度は他に類がなく、区内中小企業が外国人観光客に対するおもてなしの向上に努めようとするきっかけづくりとして、有効な手段となっている。								
	目的達成度	2	おもてなし講習受講や免税書類発行システムの導入については、初年度の助成金の利用はなかったが、外国語パンフレットや外国語HPの作成については、成果物が活用され、外国人観光客に対する「おもてなし」の取り組みの向上につながっている。								
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)							評価結果	今後の方向性			
本事業の実施により、区内中小事業者と外国人観光客との間で、言語によるストレスを感じることなく、取引ができる。初年度となる28年度は、十分な周知期間がなく利用者が少なかったが、今後更なる外国人観光客の増加が想定される中、ニーズの増加が期待されることから維持していく。								維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		